

幸福実現NEWS

党員
限定版
第28号

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

発行所 幸福実現党本部 〒104-0061 東京都中央区銀座2-2-19
電話 03-3535-3777 ©幸福実現党本部 2012年

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに
被災された皆様には心からのお見舞いを申し上げます。
一日も早い被災地の復興に向け全力を尽くしてまいります。

2011年は、未曾有の災害となった東日本大震災が発生し、菅前政権による場当たりの対応が被害を拡大するとともに、「脱原発」路線により、日本の持続的成長が危ぶまれる事態が生じました。その後、発足した野田政権では増税路線が鮮明となり、外交面でも中国の覇権主義に基づく海洋侵出の活発化など、内外政ともにわが国を取り巻く情勢は混

迷の度を深め、まさに幸福実現党が立党以来、訴えてきた「国難」が到来した一年となりました。

そうした折、大川隆法党名誉総裁は11年12月10日、つき秀学党首と「国家社会主義への警鐘」と題する公開対談を行い、2012年の展望を示されました。内容の重要性から一部を特別に紙面掲載します。
(文責・「幸福実現NEWS」編集部)

大川隆法が語る 2012年の展望

国家社会主義への警鐘

2011.12.10 公開対談 大川隆法 × ついき秀学



増税ストップ！ 野田政権退陣を求める

大川隆法党名誉総裁（以下、大川） 2011年も終わり、2012年をどうするかという時期に来ているので、考えていることが何かあったら言ってもらいましょうか。

つき秀学党首（以下、つき） 2011年は3月に東日本大震災がありました。その後の対応がなっていないということで幸福実現党は菅直人内閣退陣を訴え、これが形になり、秋には野田佳彦政権が成立しました。

野田政権は増税に向けて進み、先日は復興増税法案が国会で通りました。気が

この人はよく言っていたか、悪く言うと、意外に悪人かも。
つき 震災で傷つき、デフレで人々が苦しんでいるときに増税をかけたようになっていますので、「悪徳役人」といいますか、発想の中に悪い面があるんじゃないかと思えますね。

これに対してマスコミが弱腰であること驚くべきで、民主党政権がマスコミとの「連立政権」であることを明らかに意味しています。
朝日新聞は翌5日の社説で、増税について政府広報と全く同じ意見を書いており、あきれ返るといっても、戦時中の提灯記事のような感じを受けました。政府とマスコミがそれだけ完全に癒着するとうか、マスコミが政府の考えていることしか言わないというのは北朝鮮と中国ぐらいかな。



〈幸福実現ニュース〉は幸福実現党の機関紙です。1、2面はネットからダウンロードもできます（無料）。※幸福実現党の会員の方には、全4面のペーパー版が郵送されます（会員登録が必要です）。

PDF版ダウンロード（無料）はこちらから

<http://www.hr-party.jp/new/activity/newspaper>

忍び寄る 国家社会主義の気配

大川 何か私は忍び寄っているものを感じるんですよ。意外に怖いものが近寄っているような気がして仕方がない。今日のテーマについてなんですけど、また誰も「国家社会主義への道を歩んでいる」ということに気がついていないんじゃないかと思えます。

左翼の中でも最左翼は、言っていることがワンパターンで分かりやすいので、そんなに怖くないんですよ。けれども、保守の側とされている人の中に左翼は意外に手ごわい。保守だろって信じていると、左翼の考え方をバートとやっちゃうんですよ。

野田さんは松下政経塾を出ていることで保守であるかの様に粉飾でき、カメレオン化できているので、「最終的には松下幸之助さんみたいに資本主義の繁栄を求める方向に行くんだろ」と、みんな漠然と信じている。「今は緊急対応で増税をやっているのかな」と。けれどもその底に、左翼の全体主義と似たものが流れているのだね。

いつ退陣してもらうか目標設定して、タイムリミットに向けてどう攻め落とししていくか、まあ、問題だね。

つき 消費税増税法案は民主党内のコンセンサスが取れずにいますし、自民党も本質的には増税賛成とはいえ、解散総選挙と引っかけで交渉してくると思えますので、ハードルは低くありません。政権が行き詰まるのは目に見えています。

政党助成法は必要か？

大川 国会議員は一円も払わずにファーストクラスに乗ってお酒を飲んだり、料亭の弁当を食べたりしている。これでは景気の動向は分からないね。

それから政党助成法。「政党助成金が出ていることが政党の条件」みたいなになっているところが大きな問題で。

国から巨額のお金をもらって選挙するのはやめませんか。自分たちが当選するための運動に、税金を使うんではないよ。増税かけるんだったら、そんなことに税金を使うべきではないと思う。「幸福実現党とハンディなしで勝負しようじゃないの」という感じだな。資産公開といったって、個人の名義になっているものは少ない。資金団体がいっぱいあって、さらに公費の助成がいろいろある。こういう人たちにほんとうに景気動向が分かるのかどうか、やっぱり疑問だね。

つき 閣僚や公務員の給与をGDPの成長率などに連動させるといったことをしないと、財務省の間もそうですけど、彼らには経済感覚が分からないのではないかという気がします。

どうなる？ どうする？ 2012年

大川 さあ、この国、どう持っていくかね。2012年の危機として、「国防危機が起きたときはどうする

大川 アメリカは、選挙の前は戦争が起こりやすい。支持率が80%、90%とバツと上がるからね。どこか

のか」という問題がもう一つあるね。

韓国との間に竹島問題があるし、尖閣諸島の危機には当然中国が出てくるし、沖縄そのものの危機がある。あんまり不幸の予言はしたくないけれども、きな臭いことが起きるような感じはやはりどうしてもしようね。

狙っているかもしれない。伊朗をやるべきか、北朝鮮、中国のほうか。どちらを優先すべきか、最後の詰めをやっているはずだね。

あと中国の動き。北朝鮮、中国からミャンマー、パキスタン、シリア、それからイラン。こんなところが軍事協力で全部裏でつながっているって、ロシアまで、もしつなぐたらやはり危険なので、「これをどうやって分断して、各個撃破するか」という問題をクリントン国務長官は抱えているはずだね。

アメリカとしてはお手

上げ状態になる可能性がありますね。日本に対して軍事的にもう一段の協力態勢を築くように要請が来るはずなので、そういう政権でないとう支持しないでしょう。このへんは何か言っていると推定します。

つき できたらそれくらいうまく応える形で、「イランよりもやはりアジアを優先してもらおう」という方向に持っていきたいと思いません。

マルクス主義と民主党政権の共通項

大川 最後に、マルクスの『共産党宣言』に出てくるいくつかの言葉が、今の民主党政権の政策と重なっていることを、もう一回、指摘しておきたいんですね。

『共産党宣言』では、「私有財産の召し上げ」、特に「強度の累進課税」「相続権の廃止」、そして「教育の無償化」ということをはっきり言っているんです。これらはどれも今、民主党政権がやろうとしていることですからね。

野田首相は「保守」のようにも見えますが、やっていること自体を見ると、実は、日本をマルクス主義の方向に引っ張っているんで

すね。「右翼のヒトラーがやったことは、左翼のスターリンがやったことと同じだ」と言われているように、国家社会主義、右翼と見えないのなかに、実は、左翼政権がやることと同じことが、もしかしたら入っているかもしれないんです。だから、震災を奇貨として、国家社会主義的に、国家経済をすべて計画経済で運営するような方向に持っていくとするのであれば、たいへん危険なことが起きる可能性があります。財産権を、全部、国家のほうに持っていくとするでしょうね。

しかし、憲法は「私有財

産の不可侵」(憲法29条1項)を謳っているんです。これは公務員に対して言っているわけであって、公務員は国民の私有財産を侵してはならないんですよ。これは憲法13条の「個人の尊厳や幸福追求の権利の尊重」にもあたるとし、最高裁判例が何といおうとも、50%を超える個人所得税率は憲法18条に禁じる「奴隷的拘束」に近く、ハイエクの言う「隷従への道」につながるでしょう。また憲法99条に言う「公務員の憲法尊重義務」にも違背しており、罷免事由にあたるでしょう。ところが、今、それを完全に侵そうとしてい

るわけですよ。

震災という、逃げられない「国民の不幸」を逆手に取って、国家社会主義的な計画経済に持っていく、自分たちに都合のいい政策を、全部、実現していくとするのであれば、これは危険信号であると思えますね。

つき 幸福実現党は、国家社会主義に對しての警鐘を鳴らしつつ、「自由からの繁栄が大事なのだ。そして、この日本の平和を維持する、それだけの備えをしっかりとりたい」ということを訴えていると思っています。



野田首相の恐るべき本質! 「保守の顔をした社会主義」を見抜く!
東日本大震災をテコに増税への道を通る現政権の危険性とは?

1月18日 全国書店にて 緊急発刊

幸福の科学グループ創始者 兼 総裁 大川隆法
幸福実現党創立者 兼 党名管総裁

国家社会主義への警鐘

増税から始まる日本の危機

定価1,365円(税込) 発行 幸福実現党

幸福の科学出版 <http://www.irhpress.co.jp/> ☎0120-73-7707 FAX.03-6384-3778

1470円以上 国内送料無料
幸福の科学出版の書籍はホームページ、電話、FAXでもご注文いただけます。

